

令和6年度 IT×ものづくり インタラクシオンミーティング ～DXによる業務効率化編～ 実施要領

1 目的

県南広域振興局管内のものづくり企業と盛岡広域振興局管内のIT企業が、IT技術により製造現場やバックオフィスの自動化・経営の可視化などをテーマとして、それぞれが抱える課題や必要としている技術（ニーズ）、提供できる技術等（シーズ）を補う形での異業種間セミナー及びワークショップを開催し、ものづくり企業の生産性向上やデジタル化の推進、IT産業の成長につなげるもの。

2 実施日時・場所

(1) セミナー

令和6年9月26日（木） 13:00～16:30

北上市文化交流センター「さくらホール feat. ツガワ」多目的室
（北上市さくら通り二丁目1番1号）

(2) ワークショップ

令和6年10月18日（金） 13:00～16:30

北上市文化交流センター「さくらホール feat. ツガワ」多目的室
（北上市さくら通り二丁目1番1号）

3 実施主体

県南広域振興局、盛岡広域振興局

（共催：北上川流域ものづくりネットワーク、地方独立行政法人岩手県工業技術センター、公益財団法人いわて産業振興センター）

4 対象者

(1) IT企業（6社程度）

① 県内に事業所を設置する企業

② 「IT技術による製造現場・バックオフィスの自動化・経営の可視化」に関連したシーズや自社製品を持つ事業者で、以下の条件を満たす企業。なお、シーズとは現有商品のみならず少し改良するだけで提供可能な解決スキルを含む。

- ・ IT（DX）導入に関する製造業現場のニーズを知りたい企業
- ・ ものづくり産業への業務改善のためのIT（DX）技術導入支援に興味のある企業
- ・ 自社製品、サービスにおける県内の取引先を探す企業

(2) ものづくり企業（6社程度）

① 県南広域振興局管内（花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ケ崎町及び平泉町）に事業所を設置するものづくり企業

② 「IT技術による製造現場・バックオフィスの自動化・経営の可視化」について、以下の考えを持つ企業

- ・ 自社の高付加価値化につながる事業や利益率の高い事業に人員を割り当てるため、製造工程やバックオフィス業務にかかる人員の見直しを検討している企業
- ・ 人手不足による従業員の負担軽減や職場環境の向上に向け、製造工程やバックオフィス業務を自動化し、業務にかかる人員の見直しを検討している企業

- ・製造現場やバックオフィス業務における経営課題を認識しており、相談する I T 企業を探している企業
 - ・物価高騰時においても、利益を生み出すための経営の可視化とデータ利活用を検討している企業
- ③ 自社の経営課題及び経営戦略を説明できる社員の参加が可能な企業

5 内容

(1) セミナー（9月26日）

概要

ものづくり企業の課題（内部統制、生産管理、業務効率化等）を I T システムにより課題解決し、企業の生産性向上など、グローバルなトレンドと具体的事例を学習するもの。

① 講義内容

- ・ものづくり企業での I T 導入に関する動向や現在のトレンドについて
- ・ものづくり企業の I T 等の導入に係る補助金等について
- ・ I T システムの導入による効果（事例発表）

※セミナーの最後には参加企業で次回のワークショップに向けた、グループ分けと自己紹介を行い、事前にもものづくり企業から提出された課題についての解決方法について、検討するよう促すもの。

(2) ワークショップ（10月18日）

概要

当該セミナーに参加したものづくり企業から提出のあった経営に関する課題に対し、I T 企業及びものづくり企業の異業種間による意見交換（課題解決に向けた手法の検討）を行い、その検討内容を取りまとめ発表するもの。

① 形式

1 グループ 2 ～ 3 社程度の計 4 グループを編成

（1 グループあたり I T 企業 1 ～ 2 社、ものづくり企業 1 ～ 2 社、C D ・職員 1 名）

※ なお、グループの編成は参加人数によって変動するもの。

② 課題解決のための意見交換と発表会

参加企業に対しては、事前に課題シートに基づき、I T 企業とものづくり企業の双方で意見交換した上で、課題解決の方法を検討し、ワークショップ当日に発表を実施

③ ワークショップの流れ

意見交換、とりまとめ（90分）、発表（30分×4グループ）、講評

6 参加企業募集期間

令和6年8月1日（木）から 令和6年9月9日（月）まで

※申込多数の場合は、事務局で審査の上、参加企業を決定

7 その他

本ミーティングの参加に要する旅費は、参加企業において負担